



厚生労働省委託事業：感染症危機管理リーダーシップ人材育成事業

感染症危機管理リーダーシップ研修（長期） 国立感染症研究所における実践研修（OJT）



（寄稿）危機管理・運営局 企画調整部 政策研究課 研究開発連携室 企画係
谷口 永里香、特任研究員 蒲 東真州、上級研究員 佐藤瞳

感染症危機管理リーダーシップ研修（IDCL）では、感染症危機管理に関連する機関の役割や業務を理解し、感染症危機時における分野横断的な調整力をつけることを目的に、実践研修（OJT）を実施しています。5月は国立感染症研究所にてOJTを行いました。

5/8 ハンセン病研究センター

阿戸学センター長と森修一氏による講義および資料館見学の研修を実施しました。隔離政策下の食糧難や断種といった過酷な歴史を辿ることで、公衆衛生における人権尊重の重要性を再認識しました。歴史と医学の両面から、専門職としての高い倫理観と実学的な視点を養う有意義な研修となりました。



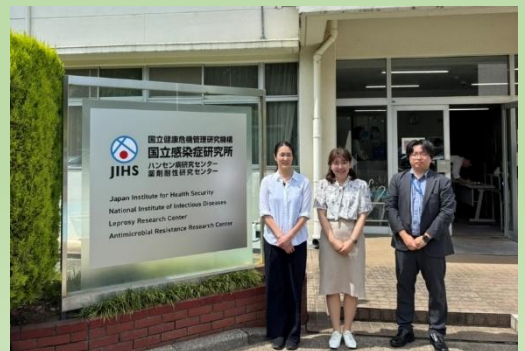
5/20 結核研究所

結核研究所を訪問しました。加藤誠也所長をはじめ各研究室の先生や、国際協力の第一線で活躍される先生方から活動状況を伺いました。所内視察では図書館に保管される貴重な文献にも触れ、日本の結核対策の歩みとその奥深い歴史について、理解を深めました。



5/25 薬剤耐性研究センター

薬剤耐性研究センターを訪問しました。大西真先生、他4名の講師により、センターが担うサーベイランスや耐性菌バンクの運用、ASIARS-Net*を通じた国際的な連携活動について講義を受けました。施設見学も交え、日本における薬剤耐性菌に対する取り組みへの見識を広げました。



* ASIARS: Antimicrobial Resistance Surveillance Networkの略。アウトブレイクの検知及び院内感染対策の効果を全国の医療施設から収集し、任意の国が利用できるように英語化したWebシステムのこと。